



15時（一財）日本航空協会同時発表  
各務原市政記者クラブ同時配布資料  
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和7年6月30日（月）岐阜県発表資料		
担当課・係	担当者	電話番号
博物館指定管理者 （公財）岐阜かかみがはら航空宇宙博物館	柳瀬 安福	直通058-386-8500 FAX 058-386-9912
航空宇宙産業課 企画連携係	伊藤 武邑	内線3765 直通058-272-8836 FAX 058-278-2653
各務原市 観光交流課 観光振興係	野田 林	直通058-383-9926 FAX 058-389-0765

## 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

### 低騒音<sup>エストール</sup>STOL<sup>あすか</sup>実験機「飛鳥」が「重要航空遺産」

### に認定されます

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（愛称「<sup>そらはく</sup>空宙博」）では、当地とゆかりのある航空機を数多く展示しています。

このたび、当博物館で展示をしている低騒音 STOL 実験機「飛鳥」が、一般財団法人日本航空協会による「重要航空遺産」に認定されることとなりました。

当博物館の展示物が「重要航空遺産」に認定されるのは、「X1G1B 高揚力研究機」、「UF-XS 実験飛行艇」、「三式戦闘機「飛燕」」に続き 4 件目です。

#### 記

#### 認定内容（（一財）日本航空協会による）

- ・認定対象：低騒音 STOL 実験機「飛鳥」
- ・所有者：国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）
- ・展示場所：岐阜かかみがはら航空宇宙博物館
- ・認定理由：科学技術庁航空宇宙技術研究所（現 JAXA）が国内航空機メーカーの協力を得て開発した低騒音 STOL 実験機「飛鳥」は、短距離離着陸技術やコンピュータによる飛行制御技術などを飛行実証し、STOL 機開発に必要な設計資料等を取得した。これら新技術は後の国産機開発に大きく貢献した。  
また、搭載された純国産ファンジェットエンジン FJR710 エンジンの技術は、後の国際共同開発エンジンに参加する礎を築いて、日本の航空技術の発展に大きく貢献した。  
「飛鳥」は1機だけが製造された希少な存在であり、飛行実験当時の状態をよく残している。これらのことから、本機は極めて貴重な航空遺産といえる。
- ・認定日：令和7年10月25日（土）  
※同日、認定証の贈呈式を空宙博にて開催予定。

<参考>

○一般財団法人日本航空協会について

航空宇宙思想の普及、航空宇宙文化の醸成、航空宇宙技術の向上を図り、内外の航空宇宙団体との緊密な連携のもとに、航空宇宙諸般の進歩発展に寄与することを目的に設立された団体。

会 長 植木 義晴（うえき よしはる）

所 在 地 東京都港区新橋1丁目18番1号

事業内容 ・航空宇宙に関する講演会、講習会等の開催  
・航空宇宙に関する資料の収集、調査、保存及び公開  
・機関誌その他航空宇宙に関する図書の発行  
・航空宇宙関係者の表彰及び弔意援護  
・内外の航空宇宙諸団体並びに諸機関との連携  
・航空宇宙事業の健全な発展の促進及び支援 等

○「重要航空遺産」について

歴史的文化的に価値の高い航空遺産について、文化財としての認識や理解が十分でないため文化財的価値が損なわれたり航空遺産そのものが失われたりすることから、その意義を広く社会に知らしめるとともに、後世に遺すことを目的に設立された認定制度。

制度設立は平成19年度。これまで12件が認定されており、うち3件は空宙博に機体が収蔵・展示されている。

- ・平成26年 3月27日認定 「X1G1B 高揚力研究機」「UF-XS 実験飛行艇」
- ・令和 5年 3月25日認定 「三式戦闘機「飛燕」
- ・令和 7年10月25日認定 「低騒音 STOL 実験機「飛鳥」

○低騒音 STOL\*実験機「飛鳥」について

科学技術庁航空宇宙技術研究所（NAL）（現：宇宙航空研究開発機構（JAXA））が国家プロジェクトとして開発した低騒音短距離離着陸実験機（STOL 実験機）。昭和60年10月28日に初飛行し、約3年半にわたって岐阜飛行場で飛行実験を行った。

飛行安定制御装置（SCAS）等のコンピュータ飛行制御の操縦系統への組み込み、耐熱複合材の一部使用、対音響疲労及び低騒音化対策等、その後の航空機開発に重要な役割を果たす新技术を飛行実験にて実証した。

※「STOL」：「Short Take Off and Landing」の略で、「短距離離着陸」を意味します。翼の形やエンジン配置の工夫によって、滑走路が短い場所や、山間部・離島のように広い空港が作れない地域でも、安全に飛行機を離着陸させるための技術です。

